

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／2年次演習2 (Seminar2(2nd year))
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	経営戦略の理論と実態の基礎
担当者 (Instructor)	秋野 晶二(AKINO SHOJI)
学期／単位 (Semester / Credit)	秋学期／2単位 (Fall Semester / 2 Credits)
備考 (Notes)	コンセンテーション：マネジメント領域、アカウンティング&ファイナンス領域

授業の目標 (Course Objectives)

この授業の目的は、企業と経営戦略の理論、歴史・現状に関連する多数の文献・資料の収集、文献の熟読・読解の把握に基づいて、企業活動の問題を見つけ出し、それを多面的な観点から理論的かつ実証的に解明する能力を養うための基礎的能力（読む・書く・話す・調べる・理解する）を習得する。

授業の内容 (Course Contents)

春学期に引き続き、本ゼミでは経営学の専門書などの輪読を通じて、企業活動に関する経営理論を学ぶ。並行して企業の財務データや産業データの見方、分析の仕方を学び、実際に、企業や産業の実態を分析する。グループでの企業分析においては、夏合宿での成果を活用し、引き続き、多数の資料を集め、整理し、多くの文献・研究業績からテーマに沿って分析を進め、3度の本ゼミでの報告とそこでの指摘を参考に修正して、論文を完成させる。また他ゼミとの討論会を実施し、論文の作成や討論の仕方を学ぶとともに、多様な考え方を学ぶ。今年度は工場訪問や企業訪問を行うことも計画している。

秋野ゼミでは、一つの論点にも様々な文献を読み様々な意見を理解し、議論を通じて多面的な考え方を身につけていく。そのため、時間をかけ継続して学ぶことで初めて得られるような「想像力」と「創造力」を段階的に修得していくことを目標としている。そこで得られる能力は、大学において専門分野を長期にわたって勉強し続けることで得られる大学のゼミでしか学びえない能力である。

なお本講義を受講するに当たっては、経営学および経営戦略論の基礎的な知識を有し、財務データや学術文献等の文献を収集・読解したうえで、これを整理してレジュメやレポートの作成することができるようになっていることが望ましい。またグループ活動を行っているので、皆で協力し合いながら学習ができることが必要である。

秋野ゼミは、大学においてしか身につけられない能力と友人が得られるゼミです。企業の理論と実態の両方に関心があり、向上心と探究心をもって持続的に時間をかけ粘り強く勉強し、みんなで協力してゼミを活性化してくれる学生を待っています。

なお詳細なシラバスについては、<http://www.rikkyo.ne.jp/web/z5000006/akinoHP~2015/rishu.html>を必ずよく読むこと。

授業計画 (Course Schedule)

1. テキスト輪読
2. テキスト輪読
3. テキスト輪読
4. テキスト輪読
5. 企業分析報告
6. テキスト輪読
7. テキスト輪読
8. テキスト輪読
9. 討論会報告
10. 企業分析報告
11. テキスト輪読
12. テキスト輪読
13. テキスト輪読
14. 企業分析報告

授業時間外（予習・復習等）の学習 (Study Required Outside of Class)

テキストを熟読し、質問・意見を整理して、論点や質問を発言できるように毎回準備する。報告者はレジュメの作成、報告の準備等を行う。企業研究では、資料の収集・整理・分析を通じたグループ活動を行い、報告・論文作成の準備を行う。また討論会の準備も行う。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

毎回の参加・発言・報告・課題の提出・共同研究への参加度など(95%)/出席(5%)

テキスト (Textbooks)

経営戦略論の基本文献（未定）。2014年度のテキストは、浅羽茂・牛島辰男『経営戦略をつかむ』（有斐閣）。

参考文献 (Readings)

沼上幹『わかりやすいマーケティング戦略』（有斐閣） 國貞克則『財務3表一体理解法』（朝日新書） テキストを基礎にしながら、その内容に沿って多数の著名な戦略論のテキストの原文に当たっている。参考文献は随時、指示する。

その他 (HP等) (Others (e. g. HP))

<http://www.rikkyo.ne.jp/web/z5000006/akinoHP~2015/rishu.html>